

アンカー健全度協中国支部

斜面防災技術講習会を開催

1700人超が受講

アンカー健全度協会中国支部は7月29日、「第7回斜面防災技術講習会」を岡山市内で開催。当日は、会場来場者とWebでの視聴者を合わせ1700人を超える人が受講し、頻発化・激甚化する自然災害に対する予防対策や、豪雨による斜面崩落を防ぐ手段などについて学んだ。

講師（発表順）は、下野宗彦氏（西日本高速道

路エンジニアリング中国・技師長）、西垣誠氏（岡山大学名誉教授、地盤工学会名誉会員、他）、奥



園誠之氏（高速道路調査会シニアフェロー、地盤工学会名誉会員、他）の3人を招聘。下野氏は、斜面防災技術「ここだけの話！―激甚化する災害にどう対峙するか―」を、西垣氏は「豪雨から斜面をどの様に守るべきか」を、奥園氏は「①斜面②次災害の予防技術②グラ

真剣に講演内容を聞き入る参加者

ウンドアンカーの設計上の盲点（捕捉）③地盤防災技術者10訓（次の世代に伝えたい私の思い）」について、自身の経験・知見、最新の技術や話題、事例などについて「分かりやすく」解説した。

参加者からは、工法や技術、防災対策などについて具体的な質疑が多く発せられ、「安心・安全」を担う技術者らの真剣度が感じられた。